

サツマイモの基腐病を正しく防除

問 農林振興課 営農推進係
☎476-1111(515)

■防除の考え方

基腐病対策の基本は、ほ場に病原菌を「**持ち込まない**」・病原菌をほ場で「**増やさない**」・ほ場に「**残さない**」対策が必要です。

■ほ場での二次伝染防止対策

(1) 薬剤散布による防除

- ① 薬剤散布体系は、適正な苗消毒と本圃の排水対策を実施していることが前提です。
- ② 異常株除去後の補植は、再発病する可能性が高いため、実施しない。
- ③ 畝間に停滞水が生じるような豪雨や雨を伴う台風の後には、速やかに予防・殺菌効果のある剤を散布して、二次伝染によるほ場全体へのまん延を防止する。

(2) 発病初期の発病株除去

- ① 発病初期の株は、早期に除去し、ほ場外に持ち出して適切に処分する。

(3) ほ場の排水対策

- ① 基腐病は排水が不良な場所で発生しやすいため、^{ほんぼ}本圃の排水対策を徹底する。
- ② 定植前にはほ場の排水機能(明渠等)とほ場外の排水路の点検を忘れずに行う。
- ③ ほ場に設置した排水口は、ほ場外の排水路につなげなければ機能しない。

■収穫後の残渣対策

- ① 基腐病菌は、かんしょ残渣で越冬し、翌年の一次伝染源になるため、罹病残渣(特に腐敗塊根)をほ場外に持ち出し、適切に処分する。
- ② 前作で基腐病が多発したほ場では、かんしょ以外の植物を2年程度輪作する。
- ③ 収穫後の屑イモや諸梗は、ほ場に放置したままにすると固くなるため、残渣の粉碎やすき込みは、十分に水分を含んでいる収穫直後に速やかに行うことが、重要です。



基腐病の発生したほ場

サツマイモ基腐病に登録のある散布剤			
薬剤名	使用倍数	使用回数	使用時期
ジーファイン水和剤	1000倍	—	収穫前日前まで
Zボルドー水和剤	500倍	—	収穫前日前まで
アミスター 20フロアブル	2000倍	3回	収穫前14日前まで